石狩市浜益区
地域協議会広報

浜地協だより

《発行》浜益区
地域協議会事務局
〈支所地域振興課〉
Tel 79-2029

［VOL149］

令和元年度　第6回
浜益区地域協議会

【と　き】令和2年1月8日(水)
15:30～17:10
【ところ】浜益支所　2階　庁議室
【委　員】〈出席〉12名　〈欠席〉3名
【傍　聴】　0名

・会議の概要を掲載しています。
・詳細は、市ホームページで後日公開します。

当日は、一件の報告事項及び二件の協議事項が審議されました。また、その他事項で四件の情報提供がありました。主な内容については、次のとおりです。

報告事項

①投票所運営の見直しについて

配布した資料に基づき、浜益支所地域振興課から現段階での状況について説明を行いました。

【報告内容】

現在、期日前投票については告示の日の翌日から期日の前日まで、選挙期日の公示又は選挙期日の八時から午前八時まで、一三〇分から午後三時三〇分までの間、市内三か所の投票所全てにおいて、参議院議員・知事選挙、道議会議員選挙、市議会議員選挙の期間、八日間、市長・市議会議員選挙の期間、六日間、衆議院議員選挙の期間、一日間、一六日間、八日間で、午前八時から午後八時まで行つて数が二つ以上ある場合は、期日前投票所のいずれか一つ以上の期日前投票所が開いていれば、よいこととなつています。

今後、石狩市役所以外の厚田区、浜益区の期日前投票所の期日前投票を参考にして、去年行われた選挙期間、時間を全ての選挙一律に六日間、時間を午前九時から午後六時までの九時間に短縮し、投票管理者や投票立会人の負担軽減を図りたいと考えています。

今後の検討により若干の変更があるかもしれませんが、皆様におり手伝いいただいてい

選挙当日の投票区については、有権者数の少ない投票区の確保など、当日の投票立会人運営の人的な負担の軽減を図りたいと考えています。

現在、浜益区には、七か所の投票所がありますが、濃昼地区を厚田区の厚田保健センターに統合し、送毛地区を毘砂別会館に統合し、実田地区を浜益小学校に統合します。七か所の投票区を五か所とする予定です。

これらの見直しにあたり、投票機会の確保は最も大きな課題となるので、その対策として、移動期日前投票所の設置と当日の投票所への連絡バスの運行を考えています。

移動期日前投票所の設置については、市が所有するワゴン車を使用し、記載台、投票箱、スロープ等、投票所として必要な設備、掲示を備え、投票管理者、投票立会人の立ち合いのもと、車内で投票するものです。

設置場所については、統合される投票所地区等や現在投票所がない地区等七か所程度を考えています。

また、選挙当日における連絡バスの運行については、この一連の見直しを行い、引き続き運行することを考えています。

この一連の見直し案については、自治会連合会定例会やご了承いただいていますが、今後、三月を目途に石狩市選挙管理委員会で、今後の選挙における厚田区及び浜益区の投票所運営の方針の決定を予定しています。

②地域おこし協力隊の募集について

浜益支所地域振興課から、本庁との予算協議の結果等について報告のうえ、協議を行いました。

【委員の主な意見】

■定住人口を増やす観点から任期終了後に起業することが課題となり、募集しなかつたが経緯があるので、その部分をどう考えるのか、また、三年間だけ活用するなど様々な考え方があると思います。

■三年間については、ある程度対応してくれる人もいるとは思いますが、それの後の定住などに掲載されなかなか難しい。新聞なども掲載されていましたが、受入自治体が何でも任せ、自由にさせる募集をし、結局、本人が迷つて困ることになるのバツクアツプも不足し、定住にはるのとのことで、結局、定住に至らないとの例が多くあるようだ。

目で聞いておりほしいと思い対応してほ

■定住が理想で、国もそれを目的とした制度だと思いますが、そこをどのようにとらえるのか。

■高齢化になり、地域として活性化するためには、自治会を例に挙げると役員のなり手が、自治会活動等の部分も立ち行かなくなっている自治会もあるので、その部分での活用も定住するのと思います。その後の定住はしいどうなるのかを考えると難しい面があるのと思います。

■仕事の確保と定住を見据えながら、進めていくことが一番いいと思います。

■子供たちは十分に浜益のことは分かっていますが、これをどう発展させるのかを協力隊と一緒にできるといいのかと思っていますが、時間の確保で四苦八苦している所もあります。

■八月二〇日の北海道新聞の記事で、夕張市で地域おこし協力隊が、公設塾の先生として活動しているとの記事が出ていて、そういうのも一つかと思います。

■昨年の地域協議会の中で、塾がほしいとの意見が出ていました。浜益は塾に通う機会が少ないので、そういう方がいたらいただければ、非常にありがたいです。

②第七期委員からの引継ぎ事項に係る意見交換について

■定くすることを期待します。何とか良い方が応募してくれることを期待します。

浜益支所地域振興課から引継事項を説明し、主に旧適沢コミセンの活用について協議しました。

【委員の主な意見】

■これまで未解決の課題で、カフェ・ガルの開店、漁協青年部開催のみなと祭り、婚活も実施しましたが、一向に発展しません。色々と聞いている範囲が狭くなり、負の部分が出て前に進めない状況だと感じます。民間業者が参入できるのであれば、規制を撤廃したほうがいい。ただ、民間業者は、利益がなければ撤退してしまうので、そのリスクを加味し、やらないと前に進めない案件です。解決するのであれば、方向転換を思いきりしないといけません。

■民間のノウハウを持った方が参加し、地域の方々が活用するのも限界があります。前回も誰もやりたがらない、責任を押し付けたと感じでカフェ・ガルがスタートした経緯があるので、そのようにならないよう、活性化に繋がるような使われ方であればいいと思っています。

その他事項

①ベトナムダルニー奨学金について

■修学旅行の横浜で物品販売をした収益金をダルニー奨学金に寄付し、一人の子を三年間、もう一人の子を一年間、学費を全部負担することとなり、先日、奨学金の証書が送付されました。

■来年度以降もこの取り組みを継続します。

②石狩縦断コンサートツアー二〇二〇について

■厚田協力隊の今野さんが今年任期満了に伴い、一月一八日に支所三階の元議場で一〇時からコンサートを開催します。ご近所の方をお誘いのうえ、お越しいただければと思います。

③地域の魅力発信！移住&地域との関わり創出フェアへの参加について

■昨年一一月に横浜で開催されたフェアに、岡本委員、わもん会の坂本さんとともに参加し、浜益区ブースには多くの来場者に足を運んでいただけました。

④川下・柏木コミセンの統合施設に関する検討状況について

■両地区役員レベルでは、浜益川河口付近案がどの面で望ましいと勝手な意見でしたが、昨年一一月二一日の自治懇話会において、市長から災害に強い施設が必要であると、浜益川河口付近に人口減少が進む中で、一か所に統合する方向性と、人口減少に対応する施設を建設するこの考え方についてお伝えしてはどうかと、そのような意見です。

■周辺に、消防団の川下・柏木・旧摺鉢山スキー場の実施設の三分の一が建設されました。

■そのの後、実施設の示されました。

■今後も地域の方々とともに考えていきたいと考えています。

次回地域協議会

●令和２年２月４日（火）
　18時00分

●浜益支所　２階　庁議室

＜おくやみ＞

氏名	死亡年月日	年齢	住所
大宮　豊 さん	R 2. 1. 6	87	幌
柳田　敏男 さん	R 2. 1.13	79	浜益
高　松男 さん	R 2. 1.13	92	群別
古滝　キミヱ さん	R 2. 1.15	90	実田

浜益区の人口・世帯数（R元年12月末現在）

人口（人）	【58,288】 1,268	〈30〉 〈1〉
男（人）	【28,177】 576	〈9〉 〈1〉
女（人）	【30,111】 692	〈21〉 〈0〉
世帯数（戸）	【27,888】 769	〈33〉 〈3〉

※上段の【　】は石狩市全体、〈　〉は対前月